

8 津久井産婆を招いた誕生儀礼の祝宴

明治24年(1891)3月3日

「七夜うぶや明祝」は産後七日目に行われた誕生儀礼で、多くはこの日に名前が付けられました。そして、新生児を地域社会の一員として認めてもらう大切な場として祝宴を開きました。この史料からは、関係者に赤飯を配り、産婆の津久井氏を招き盛大に祝宴が行われた様子、また祝宴の際に用意された祝膳の内容が見て取れます。

藤井家は江戸時代より米穀・繭の取引や質屋を家業とした有力者であることから、津久井氏が地域の人々から信頼されていたことがうかがえます。

藤井新兵衛家文書「出産見舞受・一ト七夜うぶや明祝・五月節句・一色ノ諸入用之覚帳」(P9201 609)

明治廿四年三月九日
中二郎七夜ノ祝
赤飯配リ覚
本間三郎様
藤井利七様
常良せん様
松本房吉様
勝山秀吉様
加藤善七様
梶澤善平様
新井久三郎様
金澤銑太郎様
藤井久次郎様
大島久六様
矢野好阡様

明治廿四年三月三日午前六時出生ス
出産見舞受
下七夜うぶや明祝
一色ノ諸入用之覚帳
中二郎

(表紙)

明治廿四年三月三日午前六時出生ス
出産見舞受
一ト七夜うぶや明祝
一色々諸入用之覚帳
五月節句
寿名
中二郎

(一枚目)

明治廿四年三月九日
中二郎七夜ノ祝
二付、赤飯配リ覚
本間千代吉様
本間三郎様
藤井利七様
奈良せん様
杉森や房吉様
勝山秀三郎様
加藤善七様
梶澤藤平様
新井久三郎様
金澤銑太郎様
藤井久次郎様
大島久六様
矢野好阡様

一色ノ諸入用之覚帳
津久井産婆へ
お祝儀
お返し
お礼
お詫言

内へ呼客
津久井 様
飯塚ひさ殿
内山つね殿
木暮浅吉殿
外へ人数にて祝ヲ済ス
膳部覚
血汁
猪口
平飯
酒を振舞
酒を振舞

(二枚目)

木暮浅吉様
栗原弥吉様
内山宗吉様
飯塚ひさ様

内へ呼客

産婆 津久井 様

飯塚ひさ殿

内山つね殿

木暮浅吉殿

外へ人数にて祝ヲ済ス

膳部覚

引物

塩引

血汁

猪口

平飯

酒を振舞

(三枚目)

三月九日

一金五圓 津久井産婆へ

三度見舞、其他三月

二日夜徹夜二人二看護

シ、其他薬代共礼

として遣候、済

(後略)